

令和3年度 調布市立北ノ台小学校 学校評価報告書 (学校長 箱崎 高之)

学校の教育目標

○思いやりのある子ども ○よく考える子ども ○明るく元気な子ども

目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像

目指す学校像 【ごきげんな学校】

- (1) 児童にとって 「よこびのある毎日が送れる学校」
 - ・友達と関わるのできるよこび
 - ・学んで分かるよこび
 - ・心を解放して体を動かすよこび
 - ・自分の存在が認められるよこび
 - ・自分の成長が実感できるよこび
 - ・自分の将来に希望がもてるよこび
- (2) 保護者, 地域にとって 「安心して任せられる私たちの学校」
 - ・開かれた学校→教育活動の積極的な発信 (学校HP, 学級だより, 来校機会確保)
 - ・安心できる学校→素早く, 丁寧に誠実な対応 (子供の成長を願って共に悩み, 喜び)
 - ・私たちの学校→協力, 協働の取組 (地域学校協働本部 学校を核とした地域づくり)
- (3) 教職員にとって 「ごきげんな職場」
 - ・風通しのよい明るい職場 (まずは挨拶, コミュニケーションをしっかりと)
 - ・やりたいことができる職場 (できない, やらない理由を作らずにチャレンジ)
 - ・成長できる職場 (学び, 成長する機会の確保 職に誇りと責任を)

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>

	1 豊かな心(徳)	2 確かな学力(知)	3 健やかな体(体)
自己評価	(1) 具体的な取組	(1) 具体的な取組	(1) 具体的な取組
	①主体的に考え, 議論する道徳授業の実践を するとともに, いじめについて考える授業 を全学級で各学期1回, 年間で3回行う。	①週ごとの指導計画を作成, 提出し, 計画的 に指導を行うとともに, 毎時間の授業にお いてねらい明示し, 振り返りを行う。	①「みんなのきまり」を基に全教職員による 一貫した, ルールの遵守, 挨拶, 正しい言葉 遣いの指導を行う。
	②不登校児童の解消や新たな不登校を生まな いために心の居場所づくりに努める。(児童 の声にしっかり耳を傾ける。素早く丁寧に 誠実な保護者対応をする。)	②「対話」を重視した話し合い活動とノート指 導に重点を置くとともに, 教材研究ノート を作成し, 授業の工夫改善を行う。	②感染症予防ガイドラインに基づく指導を徹 底するとともに, 「心も体もパワーアップ プロジェクト2021」を推進する。
	③靴箱を揃えることや清掃の指導を充実させ るとともに, ユニバーサルデザインを取り 入れることで居心地のよい環境をつくる。	③年間10回の校内研究で国語(書くこと) の指導力を向上させる。	③ねらいを明確にし, 運動量を確保した体育 授業を行うとともに, 全員外遊びを実施す ることで運動の日常化を図る。
者評価 学校関係	(2) 成果(数値目標に対して→結果)	(2) 成果(数値目標に対して→結果)	(2) 成果(数値目標に対して→結果)
	①児童アンケート「いじめをしないで仲良く」 95点以上→92点, 保護者アンケート「子 供たちが安心して生活」85点以上→82 点, 職員評価「道徳授業」70点以上→60 点「いじめ授業」75点以上→80点	①児童アンケート「授業の内容が分かる」85 点以上→84点, 保護者アンケート「楽し く分かりやすい授業」85点以上→84点, 職 員評価「計画的な指導」85点以上→88点, 「ねらい・振り返り」75点以上→75点	①児童アンケート「すすんで挨拶」85点以上 →85点, 保護者アンケート「すすんで 挨拶, 学校のきまり」80点以上→76点, 職 員評価「みんなのきまり, 挨拶, 言葉遣い」 80点以上→77点
	②児童アンケート「学校が楽しい」95点以上 →80点, 「先生に相談できる」80点以上 →75点, 保護者アンケート「相談に誠実に 応じている」85点以上→83点, 職員評価 「居場所作りに努めた」70点以上→73点	②児童アンケート「すすんで学習している」 80点以上→78点, 「あきらめないで頑張 る」85点以上→85点, 職員評価「対話を 取り入れた授業」80点以上→68点, 「授 業の工夫」75点以上→69点	②保護者アンケート「体力の向上や健康を保 つための指導」90点以上→83点, 職員評 価「オリ・パラ教育の実践」80点以上→68 点, 体力テストTスコア50以上→49.94
	③児童アンケート「きまりを守って生活」85 点以上→88点, 職員評価「靴箱・清掃」「ユ ニバーサルデザイン」80点以上→73点	③児童アンケート「書く力が高まった」80点 以上→84点, 職員評価「指導力が高まっ た」80点以上→74点	③児童アンケート「すすんで運動」90点以上 →86点, 職員評価「ねらいを明確にした体 育授業, 外遊びの実施」80点以上→76点
<ul style="list-style-type: none"> ・不登校の問題は様々な要因があって難しい。子供たちが自分の居場所を見付けられるようにできるとよい。 ・靴箱がいつもそろっていて気持ちがよい。児童が自慢げに紹介してくれたことがあり素晴らしい。 ・落ち着いた学級が多く, 学習規律が身に付いている。 ・黒板の字がとても丁寧に分かりやすい授業を行っている。 ・いつ学校に来ても気持ちの良い挨拶をしてくれる。挨拶は人としての基本で大人になってからも大切である。 ・コロナ禍で体力が落ちていると感じる。感染症対策をしながらも体力向上に努められるとよい。 			

学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>

	4 保護者・地域との連携	5 ICT機器を活用した授業改善
自己評価	(1) 具体的な取組	(1) 具体的な取組
	①HPを年間100回更新する。学校便り, 学年便り月1回発行する。	①年間計画に基づいたプログラミング教育を行う。
	②地域学校協働本部を生かして地域の教育力を活用する。	②「個別最適な学び」, 「協働的な学び」を意識して児童用タブレットを活用する。
	(2) 成果(数値目標に対して)	(2) 成果(数値目標に対して)
者評価 学校関係	①職員評価「HP更新, 学校学年便り発行」70点以上→74点	①職員評価「プログラミング教育の実践」80点以上→61点
	②保護者アンケート「地域と協力した教育活動」90点以上→85点	②職員評価「一人一台タブレットの積極的な活用」80点以上→59点
	・学校HPから学校の様子がよく伝わってくる。	・当たり前のように一人一台タブレットを使っている。今後も活用する場面がどんどん増えていくだろう。
	・地域の力が素晴らしい。学校に関わることで, 地域の人にも元気をもらっており, 生きがいになっている。コーディネーターの働きが素晴らしい。	・プログラミング教育は, 取り組んでいた実績があるので今後も推進できるとよい。

人材育成・組織運営

自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ○授業力の向上 ○校務分掌等の活性化 ○サービス規律の徹底 ○ワーク・ライフバランスの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・OJT(北翔塾)を推進し, 学び合い切磋琢磨する環境を作った。 ・校務分掌組織を見直し, 組織の運営を合理化した。 ・定期的な研修により, 教育公務員としての自覚と人権意識を高めることができ, 職員自己評価は91点となった。 ・おおむね週当たりの在校時間を60時間以内とすることができたが, 職員自己評価は65点にとどまった。
者評価 学校関係	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが落ち着いて授業を受けている姿からも, 教員の授業力が高いことが伝わる。 ・真面目に頑張っている教職員が多く, サービス規律が保たれている。 ・熱心なあまり, 教員の在校時間が長くなっているのではないかと。地域の力を有効活用して, 在校時間を減らせるとよい。 	

中期的な経営目標の達成状況

1	・教育活動全体を通じて行う道徳教育の充実, 特別支援教育の充実においては, まだ十分達成しているとは言えない。
2	・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善については, まだまだ教師主導の授業が見られ, 達成状況としては5割程度である。
3	・挨拶を核とした基本的な生活習慣の定着については, 成果が上がっているが, 運動量を確保した体育授業の実践は, まだ十分達成しているとは言えない。
4	・保護者や地域学校協働本部を活用した教育活動の充実については, コロナ禍ではありながらも工夫することで, 充実させることができています。
5	・一人一台タブレット端末の効果的な活用, プログラミング教育の推進については, 試行錯誤しながらも活用, 推進することができています。
人・組	・授業力の向上は, まだまだ推進の余地がある。校務分掌の見直しにより, 組織的な動きができるようになってきた。

次年度の重点課題

○主体的, 対話的で深い学びを実現する授業改善のさらなる推進

・一人一台モバイル端末の効果的な活用

・校内研究, OJTの充実